

はじめに

『ちかまつうるる読本 ザ・近松』第三卷「近松を旅する」を発行いたします。第一卷「近松を味わう」、第二卷「近松を知る」に続く、三部作の最終巻です。これまで、作品を味わっていただき、人物を知っていただきました。この巻では、皆さんに近松とともに旅をしていただこうと思います。

近松の生涯や作品を学ぼうとするとき、単に年表を追うとか、作品を鑑賞するだけでなく、生活の背景や時代の裏側を見るのも一つの方法です。歌舞伎・浄瑠璃作者として絶賛されながらも、私生活や、作者になる以前の生活については、誰にも明かさなかつた近松。子どもの頃から青年期を通し、近松の生涯にはまだまだ謎が多く潜んでいます。

この一冊は、そんな近松をめぐる心の旅にご案内します。この本では、近松の生涯や作品の舞台となった土地を紹介しながら、近松ゆかりの地をたどっています。皆さんも是非、このハンドブックを片手に旅をしてみてください。近松が誕生してから三五〇年。数多くの作品を遺し、今もなお、たくさんの人々に愛され続ける近松に、出会える街角が見つかるかもしれません。

最後になりましたが、冊子の編集にご協力いただきました関係者の皆様に感謝申し上げます。このシリーズを通して、近松愛好の輪が一層広まることを祈念し、巻頭のあいさつとします。

さばえちかもとくん近松倶楽部